

# 広報 いまり

昭和29年8月19日 第3種郵便物認可 毎月1日発行 定価1部24円 昭和55年7月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.317



開発が進む臨海産業の安全を守るため、新たに配備された高速消防救助艇が、今日も波静かな伊万里湾の警備にシブキをあげていました。

'55

7月

# 装いも新たな駅通り商店街

## 歩道に市木のマキ、カラー舗装・陶板埋め込みも

今、駅通り商店街は装いも新たに「太陽と緑があふれ潤いのあ  
る商店街」として生まれ変わろうとしています。  
広々とした道路。歩道には市木のマキが植えられ、街路灯も設置  
されました。更に、カラー舗装や陶板の埋め込みなどが行われ、  
10月には一新した駅通り商店街がお目見えします。

駅通り商店街は、市の玄関口  
にふさわしい近代化を進めよう  
と、駅通り商店街振興組合（田  
中武組合長＝57人）を発足して  
商店街の近代化事業を県営の街  
路事業と合わせて行っています。

昭和50年度から始められた近  
代化事業の総事業費は、店舗の  
建て替えが約20億円、道路美化  
に約7,000万円で、県営街路事  
業は約12億円をかけています。

事業は、これまで狭かった道  
路幅10mを16mに広げ、両サイ  
ドに歩道3.5mを設けるために  
建物移転を行い、現在、61店舗  
のうち52店が新しく改築し、4  
店が工事中で、一部を残すだけ  
となっています。

特に近代化を行うにあたって  
同組合では道路美化などの環境  
整備に力を入れ、駅前から相生

橋までの約210mの歩道に400  
万円をかけてマキの木44本を植  
えています。また、ステンレス  
の街路灯24本やシンボル灯4本  
が建てられており、夜市の開幕  
に合わせ7月12日に点灯式が行  
われます。

更に、歩道には美しいカラー  
舗装と、トンテントン祭りや伊

新緑の目にしむ模の

植えられて

わが住む街の路豊かなり

脇田町 村田昭典

万里の歴史をしのばせる焼き物  
の積み出し港風景、白壁土蔵、  
大川内山風景などをデザインし  
た陶板が敷き詰められ、通りには  
みかげ石のベンチ12個が並べ  
られるなど、10月上旬には事業  
のすべてが完了し、市民にやす  
らぎと憩いを与え、潤いのある  
新しい駅通り商店街になります。



▲新店舗や街路樹で装いも新たになった駅通り商店街

活の基本に関する常識と生  
活技術上の常識があつて、  
後者は世の進歩と共に変化  
するが前者は人間の基本で  
あるだけに変わらないのが  
建て前で、その変化には余  
程注意して先ずその対応を  
考えねばならない。

日本の政治は終戦後の事  
情にもよるが国際情勢に流  
され社会的動向においても  
何等理念的方向の探究や確  
立はなく、ただ大勢の流る  
るままに常識も放置されて  
きた感がある。

かつては社会の基本的常  
識までが国家の統制に服し、  
終戦後は全くの放任によつ  
て個々の考えの単なる集積  
にゆだねられてしまった。

人間が社会生活を営むに  
は強制にも屈せず、放任に  
も流されない基本的理念が  
必要である。

ヘーゲルは世の中の進歩  
を動と反動そして合の弁証  
法で示した。こゝろで常識  
の世界においても個と個を  
止揚したつねに社会に存在  
する合意の理念が示されね  
ばならない。

八〇年代は先ずその常識  
の確立とそれからの政策に  
よる方向づけが必要である  
ように思われる。

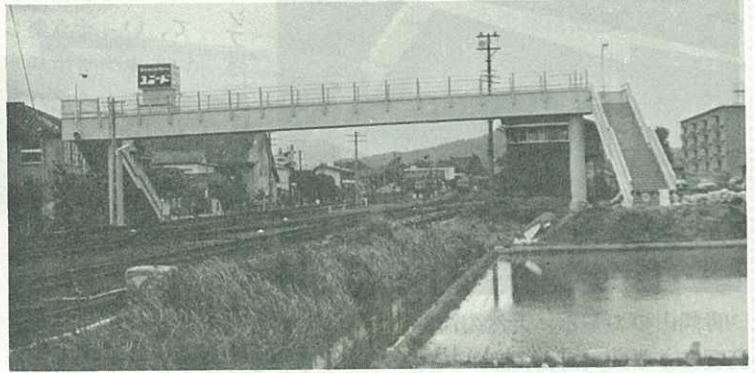
# 駅南北を結ぶ歩道橋が完成

通行は7月7日から

国鉄伊万里駅南地区と駅北地区を直結する歩道橋「蓮池跨線橋」が、このほど完成し7月7日から通行することが出来るようになりました。

この歩道橋は、伊万里駅構内の松浦線をまたいで設置されているもので、駅南側は雇用促進住宅団地の前から、駅北側は蓮池町の山口皮膚泌尿器科横から昇降するようになっています。

これは市が市街地道路の整備事業として、開発が進み住宅街となった駅南地区と駅前商店街などを結ぶ生活道路の整備を行い、地域住民の利便をはかろうと伊万里駅構内に跨線歩道橋を建設したものです。



歩道橋の長さは62.1m(階段部分を含む)、橋幅2mで、総

事業費約4,600万円をかけて建設されました。

## 水難救助隊を結成

高速消防救助艇とアクアラングを配備

市消防署は水難事故防止や救助に備え、このほど水難救助隊を結成しました。

この救助隊は、さきに日本消防協会から寄贈を受けた高速消防救助艇(400万円相当)と、松浦町下平の徳永政雄さん(77歳)から金婚式祝いにとアクアラン

グ用具6セットなど(100万円相当)の寄贈を受けたのを機会に結成したものです。

高速消防救助艇は伊万里湾内に浮かぶ越木島にちなんで「こしき号」と命名、西分署(山代)に配置し湾内の警備にあっています。消防士のアクアラング隊は県内では初めてで、非常時に備え隊員6名が潜水技術などの特訓を受けています。



▲アクアラングを特訓中の水難救助隊員

未曾有の衆参両院同時選挙も終わり日本はこれから一九八〇年代の方向を決定しなければならない。先般文部省の調査で大学生の六割が不本意な入学をしていると発表され、また県教委の手引書では高校生の六割までが男女の交際にセックスOKと出ている。最近の犯罪の動機においても、犯罪に対する若者の考え方の特徴がかなり鮮明に出ている。そこで先ず国は八〇年代の方向を定める前に必要分野における国民の意識の変化を調査してみることが大切ではなからうか。なぜならば六割という調査結果はその事柄に対する常識が変わったものと受けとめられるからである。常識が変わっているのに方向を決定しては大変なことになる。もともと常識には人間生



ご利用ください

### 施設も充実した大川内山キャンプ村



◀ キャンプ場に完成した宿泊研修施設

場なども整備されて、いっそう楽しいキャンプ生活ができるようになりました。

今年の夏は土曜日、日曜日を中心に市外からの予約や、問い合わせも

きており、キャンプを計画しておられる方は早めの申し込みが必要です。

〔連絡先〕

福岡良一さん（大川内町大川内山、☎③4090）へ。なお期間中は③1977 で受け付けます。

青螺山のふもと、天然の涼を満喫できる大川内山キャンプ村が、7月15日から9月5日まで開かれます。同キャンプ場の歴史は古く、昭和26年のオープンですから今年で30年になります。大型テントプレースなどの施設を整えてから、利用者の数も年々増えており、昨年は約6,000人の利用者がいました。

今年新しく、宿泊のできる山小屋風のりっぱな研修棟が完成し、林間広場や遊歩道、炊事

### 地区別飲酒運転検挙者数

(昭55.5.31現在 伊万里警察署調)

地区	1月～4月	5月	累計
伊万里	4	1	5
大坪	3	0	3
牧島	2	1	3
立花	3	0	3
大川内	3	1	4
黒川	2	0	2
波多津	0	0	0
南波多	1	1	2
大川	2	0	2
松浦	1	0	1
二里	4	2	6
東山代	4	0	4
山代	1	3	4
(市外)	7	1	8
計	37人	10人	47人

### 市の人口

(6月1日現在)

総人口 61,055人(+29)  
 男 28,962人(+17)  
 女 32,093人(+12)  
 世帯数 16,377 (+12)  
 市民課調べ、( )は前月比

### 7月の市民会館行事予定

- ・毎週金曜日 9時30分～15時 運転免許更新時講習会
- ・13日(日) 14時開演 「劇団野ばら」公演
- ・17日(木) 13時～18時 教育講演会(伊万里学園高校開校15周年記念)
- ・20日(日) 9時～17時 日本民謡大賞佐賀県大会

## 公共下水道工事にご協力ください

市は、現在、清潔で快適な生活環境づくりの一環として、公共下水道や都市下水路の整備に力を入れています。

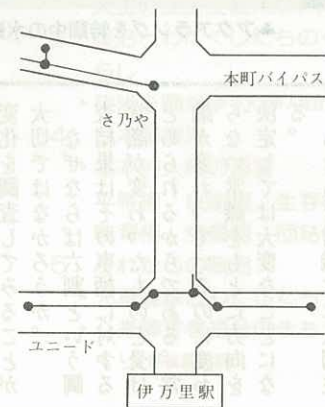
昭和54年度事業で市の中心部に約160mの下水管理設工事をを行いました。今年度はそれに引き続き、駅前交差点付近と、「さ乃や」前交差点付近の2箇所で埋設工事を行う予定です。

工期は7月上旬から8月いっぱいを目処に予定していますが、工事の場所が交差点部であるため、沿線の皆さんや、付近の交通に多大なご迷惑をおかけすることと思います。

しかし、下水道は市街地における河川や海域などの水質保全

を図り、生活環境の改善、快適な居住環境の整備に必要な不可欠の施設ですから、その必要性をよくご理解いただき、工事にご協力ください。

### 下水管理設工事場所



## 黒川町に雇用促進住宅80戸を建設

鉄筋5階建て3棟 来年6月完成

黒川町に鉄筋コンクリート5階建ての雇用促進住宅3棟=80戸(30戸・30戸・20戸)が建設されることになりました。

これは雇用促進事業団が勤労者対象の住宅として、総事業費約6億7,000万円をかけ、同町小黒川の国道204号沿い(若宮神社前バス停横)の敷地7,349㎡に建設するものです。

団地には60台が収容できる駐車場や集会所も設けられます。

住宅の間取りは3DK、家賃は2万1,000円程度で、入居予定は来年6月頃になります。

雇用促進住宅は、伊万里駅裏



▲雇用促進住宅(駅裏)

に4棟(160戸)が建てられており、今回は七ッ島工業団地の企業従事者などの入居を主体として黒川町に建設されるものです。



貿易実績は35億1,470万円で前月比7億1,652万円の増。

【輸出】14億1,061万円

【輸入】21億409万円

【船舶の入港】16隻

(日本船4、外国船12)

【寄港上陸許可者数】

296人(フィリピン156人、韓国81人、中国30人、インドネシア29人)

### ＜国保コーナー＞

## 老人医療費は"タダ"ではありません

おじいちゃん、おばあちゃん病気になるたら安心して病院で治療を受けてください。

70歳以上のおとしよりが病院にかかれた場合、治療費は払わずに済みます。でも誤解しないでください。その時の治療費はみんなの税金でまかなわれていますから、決して"タダ"ではないのです。

図を見て、おわかりのとおりおとしよりの医療費はとても大きな額にのぼっています。伊万里市の場合、国保加入者ひとり

当たりの医療費は平均約7万円ですが、おとしよりの場合はこの約5倍、36万円にもなっているのです。これは国保全体の約42%を占めており、将来、おとしよりの人口がますます増え続けることが予想されていますから、社会的に大きな課題となっています。

万一の時、十分な治療を受けるためにも、これらの事をよく知っていただいて、医療費の正しい使い方理解と協力をお願いします。(市民課国保係)

### 教育講演会のご案内

創立15周年を迎え「地域に開かれた学校」を目指す伊万里学園高校は市内の中・高校生を持つ父母を対象に教育講演会を開きます。

▲期 日 7月17日(木)

13時30分

▲場 所 市民会館大ホール

▲講 師 森崇氏(福岡教育大学教授)

▲演 題 『思春期の子どもを持つ親へのアドバイス』

### サマージャンボ(市町村振興)

#### 宝くじのお知らせ

この収益金は、豊かな住みよい地域づくりとして、伊万里市にも還元されます。

▶予約受付 7月上旬

(詳細は新聞紙上で発表)

### 伊万里市の国保(昭和54年度)

保険税 (6億7千万円)

国庫補助金 14億5千万円 (その他4億円)

54年度被保険者数 24,098人  
老人被保険者数 2,945人  
老人の占める割合12.2%



診療費 総額 24億9千万円  
老人分 10億5千万円  
老人分の占める割合42%

あなたと  
考える

# 健康都市伊万里

今日の世相を見るとき、氾濫する情報社会のなかでモラルの低下や非行、犯罪が渦まいています。人々が経済的な豊かさを持ち、都市が機能的に整備されても、犯罪が起きるような社会は病める社会であり決して健康な社会とはいえません。悪のつけ入る隙のない真の「健康都市伊万里」を実現するためにどうしたらよいか、みんなで考えてみましょう。



## 社会総健康運動で健全都市に

人間はからだが強くなると自分から病気を起こすか、外からの感染で病気になったりするものです。

これと同じように、私たちが住んでいる社会も健全さがなくなってくると、犯罪という名の病気が、住んでいる社会の中から発生したり、外から侵入してむしばまれてきます。

人々が生活する都市は、それ自体が健康でなければ健全都市とは言えません。

今、伊万里では犯罪という名の病気に堪えうるように、常に健全でありたいと「社会総健康運

動」を推進しています。

社会総健康運動は、市民の健康をはじめ、まちは機能的で活気に満ち、地域には豊かな自然と人々の笑いが溢れる社会「人も地域も健康な都市」づくりを行う運動です。

地域の連帯を高めるコミュニティ活動や地域ぐるみの青少年活動、善意のまちづくりなどを進め、健康の基盤づくりをはかり「人も健康」「まちも健康」という真の「健康都市伊万里」の実現をめざしています。

## 体から心の健康づくりへ

心と体の健康づくり——「社会総健康運動、の一翼をになう市民の健康管理の拠点「保健センター」が休日急患医療センターに引き続き開業し、市民生活に密着した総合的な保健業務を行っています。

また、市民の体力づくりやレクリエーションなどの憩いの場「因見台運動公園」は、武道館の完成で総合的スポーツ施設が完備し、体力づくり日本一にふさわしいスポーツ公園となり、今年の早朝ソフト・野球大会に

は、史上最高の196チーム、約4,000人が参加して体力づくりに汗を流しています。

市民の積極的な健康づくりの輪は、地域の連帯を高めるコミュニティ活動として体から心の健康づくりへと展開し、地域ぐるみで人も健康、まちも健康の「健康都市伊万里」へと広がっています。

社会総健康運動は健康都市の形成をめざすものです。

みんなで人々の笑いが溢れる明るい社会を築きましょう。



▲ボランティア活動を続ける理・美容組合

# 里を見つめる

キャンペーン  
シリーズ No.22

## 市民の力で築き育てよう

健康な社会の建設——それは市民ごぞって参加することです。7月1日から1か月間、社会を明るくする運動が全国的に行われており、伊万里でも社会総健康運動の一環として展開しています。健康都市は、家庭や学校、地域社会が相互の絆を強くするなかで市民のみなさん自身が築き育てるものではないでしょうか。



「悔いのない青春」を。  
第30回「社会を明るくする運動」

### 「善事千里を走る、世の中に



伊万里市長 竹内 通教

「悪事千里を走る、の諺どおり悪意はだまっても広がりますが、善意を結びつけて広げることは容易ではありません。

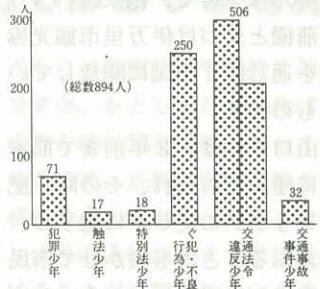
しかし、何としても伊万里市を善意の広がる「善事千里を走る、世の中に」と願い、市広報に「ありがとうあなたの善意」というタイトルで、心あたたまる町の話題を掲載しています。

駅やバス停、神社境内の美化活動をする子供たちやお年寄りの皆さん、私費で武道場を作り子供たちに指導する福田さん、

商店街の清掃を16年間続ける井上さんなど、昨年2月号からスタートしたこのページも今月号で18回を迎え、36の個人や団体の善行者が登場しました。

これからも善意の点を線から面へと広げていき、潤いのある健全都市の建設に励む所存です。

昭和54年中の非行少年等補導状況  
(伊万里警察署:少年非行白書)



### 青少年を非行から守ろう



東山代町里 保護司 荒木 月秋さん

青少年にとって、正しい知識の体験は正義感を養うとともに非行の予防となり、また豊かな愛情の体得は、尊敬の念を育て非行の防止ともなります。

知識と愛情の光によって、青少年は育成されるものです。

「社会を明るくする運動」は谷間にある非行少年に、360度の角度から育成の光を届け、更生を促進する、地域住民総参加

の運動であります。

いつの時代にあっても、浜の真砂のごとく、非行はつきません。しかし持て余す砂もコンクリートには欠かせない大切なものです。今急務なことは、そうした知恵を市民全体がもつことでありましょう。育成に知恵をもって、青少年の生命に触れる懸命な努力こそ、非行から青少年を守る最善の策と思います。



▲無人駅を清掃するお年寄りの皆さん

# ありがとう あなたの善意

## 心あたたまる町の話

～その18～

### 美しい善意が咲く、<sup>い すいしやうぶ えん</sup>渭水菖蒲園

市民に潤いをと六仙寺の山口さん夫妻

伊万里河畔に美しいショウブの花を咲かせ、市民の目を楽しませている方がおられます。

この方は、大坪町六仙寺の山口一男さん（63歳）で、伊万里川と国道202号バイパスが交差する下流左岸1700㎡の河川敷に、肥後ショウブ約100品種、3,000株を育て、渭水（いすい）菖蒲園と名づけ伊万里市観光協会を通じ広く市民に開放しているものです。

山口さんは、3年前まで熊本県に住んでおられ、その時、肥後ショウブの美しさに魅了し、是非ふるさとにも咲かせて市民の皆さんに観賞してもらいたいと、退職して郷里に帰るとき持ち帰り移植したとのこと。

ショウブ園は、奥さんの竹子さん（58歳）と管理をしておられ、二人の美しい善意で生まれた新たな観光名所は訪れる人々の心に潤いを与え皆さんから感謝されています。



▲ショウブ園の手入れをする山口さん夫妻

### 奉仕の精神を広げるクラブ活動 <sup>伊万里学園</sup>

ボランティア活動に励むインターアクトクラブ

15周年を迎えた伊万里学園高校に奉仕を目的としたユニークなクラブがあり、明るい社会づくり運動に貢献しています。

このクラブはインターアクトと呼ばれるクラブで、寺沢茂展会長ら23名の学園生によって組織されており向陽園や養護学校などの施設慰問、街路花壇の美化活動、年末助け合い運動の街

頭募金など、幅広いボランティア活動に取り組んでいます。

インターアクトクラブは、高校生を対象として社会奉仕の精神を広げようと、伊万里ロータリークラブの肝入りで10年前に結成されたもので、学習やボランティア活動に励んでいます。毎週水曜日の午後は市内各地に出向き清掃したり、ネパールの結核患者救済の古切手を集めるなど活発な活動をしています。

これまで同クラブを指導してこられた古川正道教諭は「今では奉仕の心がクラブ員だけでなく、学園から社会へと広がってきました。本当に喜ばしいことです。」と語っておられました。



▲清掃奉仕をするインターアクトクラブの皆さん





▲`菓子組合のみなさんがボランティアで、養護学校の子供たちに菓子を作ってプレゼントしました。(9/6)



▲朝もやの中で熱戦が展開される`早起き野球大会、は69チームが参加しました。(9/1)



▲チッコ力士が大奮闘の`少年すもう大会、は大坪小日チームが優勝しました。(9/6)

いま伊万里で



▲市内で初めての`婦人防火クラブ(二里町東八谷)が誕生。消火訓練を行いました。(9/21)



▲米作りを実習で学ぼうと、波多川小学校の子供たちは泥にまみれ田植えをしました。(9/8)

▼史上初の`衆参院ダブル選挙、は開票事務も大わらわでした。(9/23)



# 水の事故防止に努めよう

## 水上安全法の講習会

水の季節到来とともに水の事故、特に子供の水死事故が増加し、交通事故の犠牲者をはるかに上まわる程になっています。

昨年の場合、全国で510人の子供(中学生以下)が水の犠牲者となっており、その半数は就学前の子供です。

子供だけの水遊びや、家の近

くの川や池などは特に保護者の注意が必要です。

日赤では万一の事故の場合に役立つ「水上安全法」の講習会を7月11日、午後1時から国見台プールで行います。

受講希望者は7月9日までに社会福祉協議会(☎③2111、内線264)へ申し込みください。



## 硬式テニス教室 参加者募集

初心者を対象とした「硬式テニス教室」を次のとおり開きます。ご参加ください。

▲期間 7月26日～8月24日  
(毎週土曜、日曜日)

▲時間 土曜日 14時～16時  
日曜日 9時～11時

▲会場 国見台庭球場

▲人員 40名程度

▲参加料 1,500円

※参加希望者は7月20日までに事務局(東新町、大塚秀治さん ☎③2763)へ。

## 国見台プール使用の お知らせ

- ▶期間 9月10日まで
- ▶時間 9時30分～17時
- ▶料金 学生・生徒 30円  
大人 60円
- ▶休日 月曜日(ただし月曜日  
が祝日の場合は火曜日)

※現在建設中の徒渉(子供用)プールは8月1日オープンの予定です。

## 特設人権相談

特設人権相談所を次のとおり開きます。人権、相続、不動産などの問題でお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

▲日時 7月9日 10時～15時

▲場所 市中央公民館

▲担当 人権擁護委員

菊地俊夫氏

## あなたも走ってみませんか

市陸上競技協会主催の月例陸上記録会が行われます。

▶日時 7月11日(金) 18時

8月8日(金) 18時

▶場所 国見台陸上競技場

[参加自由、全員に記録証交付]

## 学校での同和教育の取り組み 同和教育シリーズ No.8

伊万里市の小、中学校で、同和教育に取りくんでからすでに10年になります。教科書にも同和教育の問題が、憲法で保障されている人権問題とかがわって記述されていますが、同和教育は決して特別の教育でなく、各学校では教育の全体計画の中に同和教育を位置づけて、各教科や道徳、特別活動の中で、児童生徒の発達段階に応じ、生命、人権、真実、差別、平和、労働、連帯などの視点をふまえて指導しています。

学校での同和教育は「ねた子を起こして、すべての子どもに同和教育を正しく教える」ことが基本的な課題になりますが、このことは、一人ひとりの子どもを大事にする教育であり、差別を見ぬき差別をしない、差別を許さない人間を育てていくことがそのねらいです。

学校では、特に社会科の教材が中心になりますが、6年生の教科書の中から関係する内容を取りあげてみますと次のようになっています。

1. 天下の統一と江戸幕府
  - ・刀狩りと検地
  - ・士、農、工、商(身分制度)
  - ・百姓一揆
2. 国家の統一と四民平等
  - ・大正の民主主義(全国水平社)
3. 政治とわたくしたちのくらし
  - ・政治を動かす力(世界人権宣言)
4. 日本国憲法
  - ・基本的人権の尊重
  - 平等権、自由権、生存権
  - 教育権、労働権、団結権
5. これからの政治
  - ・児童憲章とわたしたち
  - ・心身障害者福祉のまちづくり(学校教育課)

# 家出人や行方不明者を探す 巡回相談所を開きます

# 炭鉱資料展を開催

7月15日～8月30日

警察は7月11日から8月10日まで「行方のわからない人を探す運動」を展開し、県内各地で家出人を探す巡回相談所を開設します。

こころあたりの方は、捜している方の顔写真(なるべく新しいもの)や、着ておられた衣服のともぎれなど身許や所在確認の手がかりとなるものを持って、相談においでください。

▲日時 7月25日(金)  
9時～16時

▲場所 市役所第2会議室  
(1階市民ロビー前)



愛の献血にご協力を  
7月10日、ユニード前  
伊万里ライオンズクラブと青年会議所は県の移動採血車「しろはと号」による採血を次のおり行います。

▲日時 7月10日(木)  
10時～15時

▲場所 ユニード前駐車場

市歴史民俗資料館は多くの方々のご協力により「伊万里の炭鉱資料展」を開催します。

江戸末期から百数十年続いた石炭産業は、伊万里市においても重要な地位を占めていました。

今では、すっかり姿を消してしまっただけの炭鉱の往時を振り返ってみることも必要なことだと思われまます。多数ご来館ください。

▲開館 7月15日～8月30日  
(日曜日は休館)

▲時間 9時～16時

▲主な展示物 旧炭鉱の写真、絵、図面、採炭用具、その他

- 山口コト(亡母チヨ 大坪町白野)
- 愛甲ユキ子(亡父勲 立花台四丁目)
- 西田源次(亡父卯七 東山代町滝川内)
- 川島泰蔵(亡父庸蔵 松浦町下分)
- 山口勇夫(亡弟洋昭 大坪町白野)
- 小杉アサ子(亡夫道生 波多津町畑津)
- 草場武行(亡祖母リキ 黒川町奥野)
- 内海富士男(亡母ミト 脇田町脇田)
- ◆篤志寄付
- 二四〇円 匿名
- 五〇〇円 松尾義明(瀬戸町本瀬戸 期限満了の拾得金)
- 五千円 斎藤忠明(新天町)
- 市身心障害児父母の会へ
- 六万三二八七円 教法寺門信徒一同



ありがとうございます

ごさいました

- 次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。(敬称略)
- 社会福祉事業費へ
- ◆香典返しを寄付
- 石井トラ(亡夫豊 松浦町岳坂)
- 原久男(亡父善吉 大川内町平尾)
- 力武源一(亡母トサ 脇田町平山)
- 小林猛(亡母末児 元町)
- 岡崎政美(亡父新八 松浦町岳坂)
- 早稲田勝昭(亡父 立花台三丁目)
- 前田千代子(亡夫茂雄 東山代町川内野)
- 田中マツヨ(亡夫保信 東山代町大久保)
- 松尾政司(亡母レイ 松浦町上分)
- 田中ユキエ(亡父定雄 上土井町)
- 樋口勝弘(亡母ミヨ 山代町楠久)

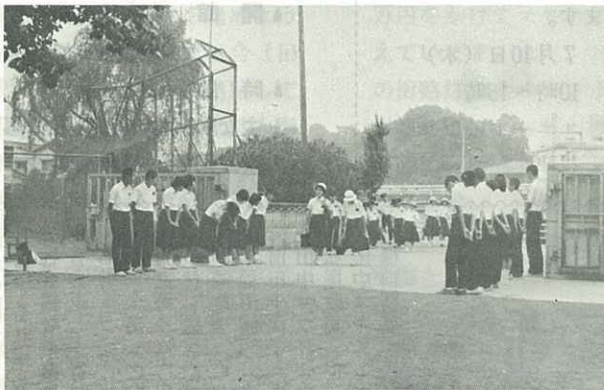
- (親鸞聖人誕生会の際の益金を)
- 教育振興奨励基金へ
- ◆香典返しを寄付
- 北島新(亡長男昭正 立花町西門)
- 内山守人(亡三男健 東山代町長浜)
- 前田千代子(亡夫茂雄 滝野小中指定)
- ◆篤志寄付
- 電動式ろくろ二台 伊万里焼協同組合(大川内小陶芸クラブ指定)
- 二万円 中島紘一(新天町六五四) 消防施設整備へ
- 小型動力ポンプ一台、アクアラングセ ット三基ほか百万円相当 徳永政雄(金婚式の記念に市消防本部へ)
- 大川内公民館施設整備資金へ
- ◆香典返しを寄付
- 湖上富士夫(亡父卯七 大川内町市村)
- 原久男(亡父善七 大川内町平尾)
- 波多津公民館へ
- ◆香典返しを寄付
- 田中作治(亡母ハン 波多津町浦)
- 前田政喜(亡父友太郎 波多津町井野尾)
- 南波多公民館施設整備資金へ
- ◆香典返しを寄付
- 前田幹雄(亡父喜一 南波多町府招上)
- 山口猛(亡母イチ 南波多町古里)
- 大川老人懇の家へ
- ◆香典返しを寄付
- 桜井兼左門(亡妻アイ子 大川町宿)
- 松浦町教育振興会積立資金へ
- ◆香典返しを寄付
- 平尾政明(亡父良吉 松浦町東分)
- ◆篤志寄付
- 参万円 松尾保(松浦町下平 妻ヒ サ子病気見舞返し)
- 東山代町長浜児童館へ
- ◆香典返しを寄付
- 内山守人(亡三男健 東山代町長浜)

# こども の ページ

—こどもたちが作ったページ—

新しい試みとして、子供自身の手でこのページを作ってもらうことにしました。自分の学校の特色や学校生活、クラブ活動などどんな事でもかまいません。年に何回かこのようなページを作りますので、あなたの学校のことも書いてみませんか。

## 第1回は伊万里中学校の登場です 校訓を生かしてあいさつ運動 生徒会が登校時に呼びかけ



◀校門の前で登校してきた人にあいさつを呼びかけます

「おはようございます。」  
伊万里中学校の一日が始まります。私たちの伊中では、毎朝、生徒会本部役員が違反者点検を兼ねて校門で全校生徒一人ひとりに、あいさつを呼びかけています。そして、6月から本部役員のほかに全校生徒も参加して、この校門指導が行われるようになりました。

この校門指導のねらいは、伊中の校訓でもある「お互いにあいさつをしよう、の推進です。また、もう一つ大きな役割として生徒会活動を活発化するためでもあるのです。

全校生徒があいさつをかわしそのあいさつの輪が伊万里市全体へ広がっていけば……こんな

すばらしいことはありません。こういう願いをこめて、私たちはあいさつ運動の輪を大きく広げていくつもりです。

## 美しく住みよい町づくりに取り組んでいます

ぼくたち伊万里中学校の生徒は地域住民のひとりとして、地域の人たちとの協力、連帯、奉



▲児童公園の清掃をする栄町の伊中生

## 皆さんも走りませんか!!

河川敷のトリムコースを活用

伊万里中学校は、伊万里川のすぐそばにあるため、過去には水害という暗い出来事もありました。その後、伊万里川は川幅が拡張され、河川敷には緑の芝生も植えられて、放し飼いにされたアヒルが人々の目を楽しませてくれています。

この河川敷は体力づくりのためのトリムコースにもなっており、往復1,200mのこのコースで伊中陸上部も練習しています。青春を力いっぱいスポーツにぶつける姿に、道行く人たちも声援をおくってくれています。



▲トリムコースで練習に励む陸上部

仕などを学びとろうと、毎月第1日曜日、それぞれの地区で自主的な活動を行っています。

公共の施設や、公園、道路、公民館などの草取りや清掃をして、ボランティア精神を発揮し美しく、住みよい町づくりの手助けをしています。

市民の皆さんもぼくたちといっしょに美しい町づくりに取り組みませんか。